

平成30年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

本学園で学ぶ生徒が、より良い人間関係と充実した教育環境のもとで、その人格・個性が尊重され、学習や行事・活動を通して確かな学力と社会性を身につけ、豊かな人間性を育み、やがて社会の中で活躍し未来を切り拓いていく力を培う教育を実践する。

- 〔1〕 個性を伸ばし自らの成長に向けて努力する人を育てる。
- 〔2〕 自主的に何事にも積極的に取り組む人を育てる。
- 〔3〕 実践を通して知識・技能を一層深く学ぶ人を育てる。
- 〔4〕 礼儀を身につけより良い人間関係を築こうとする心豊かな人を育てる。

2 中期的目標

【1】 建学の精神と教育理念にもとづく学校経営計画及び教育計画を策定し実践する。

- (1) あらゆる教育計画・活動に本校の教育理念・方針の一層の浸透を図る。
 - ア 学年・校務分掌等の教育計画を改善し、理念・方針を浸透させる。
- (2) 教育計画の実践に向け教職員の資質向上を図り学校運営体制を改善・整備する。
 - ア 教職員の資質・能力の向上を図るために研修内容の充実を図る。
 - イ 組織の連携及び会議の機能を強化し、課題に対してチームで対応する。
- (3) 総合学園としての教育環境を有効に活用した学内連携教育を実施する。
 - ア 総合学園としての教育環境を活用し、高大・高短等の連携教育を実施する。

【2】 18歳の高校生に求められる学力及び態度・諸能力の基盤を養成する。

- (1) 学習指導において、主体的・協働的な学びを実践する。
 - ア 基礎的知識の習得及び思考力・判断力・表現力の養成のために授業改善を行う。
 - イ 対話力や課題発見・解決力等を養うための主体的・協働的な授業を行う。
- (2) 生徒指導において、集団・社会に貢献できる態度・実行力を身につける。
 - ア すべての教育活動を通して規律ある生活態度や礼儀・マナーを身につける。
 - イ 活動・行事等を通して協調性・責任感・行動力などの社会性を身につける。
- (3) 部活動を通して自らの心身を鍛え社会性を獲得する。
 - ア 技能を磨き目標に向けて努力し続ける中で心身を鍛える。
 - イ 仲間と共に目標の実現に向けて活動する中で社会性を身につける。
- (4) あらゆる教育活動において、良き市民、社会形成者としての態度・能力の基盤を養う。
 - ア 民主主義社会を担う主権者としての自覚を促す教育を実施する。
 - イ 将来の社会を担う健全な市民となれるよう市民性を育む教育を実施する。
- (5) 国際交流を推進し多様な文化を理解し共生できる国際的資質を育む。
 - ア 短期・長期の留学派遣及び海外から研修生・留学生の受入れを実施する。
 - イ 英語科およびあらゆる教育活動を通して国際理解教育を推進する。

【3】人としての在り方生き方を考え、他者と共により良く生きていくための人権意識を養う。

(1) 自己及び他者を尊重し共により良く生きようとする態度を養う。

ア 人権学習を実施し人権問題への理解と解決に向けた態度を身につける。

イ 学級生活や活動を通して仲間と共に調和して生活しようとする態度を養う。

(2) 生徒が抱えている課題に対して、そのニーズに応じたきめ細かい相談・支援を行う。

ア 学習・生活・心身等の課題を抱える生徒に丁寧に対応し支援を行う。

イ 生徒のニーズを把握し、教職員が連携して適切な特別支援教育を実施する。

【4】進路目標の実現に向けて未来を切り拓く力を養うキャリア教育を実施する。

(1) 自分を見つめ、未来に目標を持ち、それを実現させるための能力を養う。

ア 自分の興味・関心を知り進路目標を考える学習を実施する。

イ 上級学校や職業に対する関心・意欲を高める体験的学習を実施する。

(2) 生徒の希望・目標を実現させることができるよう進路相談・支援を行う。

ア 進路選択に必要な情報を提供し、目標設定や実現に向けた相談・助言を行う。

イ 放課後や長期休業期間を含む進路指導体制を整備し講習等を実施する。

【5】安心・安全な社会を築くための態度と行動力を養う。

(1) 防災・減災に向けた防災教育・訓練を実施する。

ア 防災・減災に向けた行動が取れるよう状況に応じた訓練を実施する。

イ 自然災害に対する科学的理解を深め、防災意識を高める。

【自己評価アンケートの結果と分析・学校協議会からの意見】

| 学校教育自己診断の結果と分析 [平成 31 年 2 月実施] | 学校協議会からの意見 |
|--|---|
| <p>・評価項目： 教育活動全般及び学校に対する全体的評価を行う。</p> <p>・評価方法： 各項目について、5段階評価で行う。</p> <p>5：その通りである 4：どちらかといえばその通りである 3：どちらともいえない 2：どちらかといえば違う 1：まったく違う</p> <p><保護者アンケートの分析></p> <p>保護者の方が学校の取り組みや子どもの学校生活の様子を知る機会が少ないことから、情報提供をより多くすることを心がけ、ミマモルメやホームページを活用した。保護者評価を分析しますと、生活指導・部活動・行事・施設・情報提供・学校全般について評価が高く、「入学させて良かった」や「子どもを成長させてくれている」という項目で 4.0 を超える高評価を頂いているが、慢心することなく、これからもさらに高い評価を頂けるように努力したいと思います。一方、授業・教科指導・資格取得や検定試験・いじめ対策についての評価は必ずしも高くありません。生徒達の勉学意欲を高める授業、安心して学校生活を送るためのクラス経営をめざして、教員間の学びあい、情報交換を密にしていきます。次年度は、全項目評価 3.8 以上、平均値 4.0 以上を目指します。</p> | <p><学校評価委員会を開催></p> <p>令和元年 5 月 10 日実施</p> <p>○「文化祭、体育会などの行事」に子ども達が積極的に参加をしていることがうかがえる。文化祭・体育会では、保護者が子ども達の様子を直に見ることができ、共に楽しめることが嬉しい。行事における自主的な活動は、子ども達にとって協働の体験となり、社会で生きる力を育む重要な機会となるので、企画の段階から子ども達にしっかりと考えさせ、今後さらに「子ども達主体」の行事として活性化していただきたい。</p> |

| 学校教育自己診断の結果と分析 [平成 31 年 2 月実施] | 学校協議会からの意見 |
|---|---|
| <p>◆高い評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急連絡や予定などの情報はメールで受信し、確認している。4.4 ・子どもは、時間や服装など、校則を守って生活している。4.3 ・文化祭・体育会などの行事に、子どもは積極的に参加している。4.2 ・行事案内や活動内容などの情報は、配布文書で伝えられている。4.1 ・様々な部活動が活発に行われていて、個性や能力を伸ばしている。4.1 ・子どもは学習・友人関係・活動など楽しく学園に入学させてよかった。4.1 ・学校の施設・設備は良く整っており、校内の美化・清掃は行き届いている。4.1 ・この学校は学習・活動・体験を通して子どもを成長させていると思う。4.1 <p>◇生徒用アンケートの分析</p> <p>生徒の評価は、昨年度より少し下がった項目が多く、全般的に厳しい評価となっています。今年も 4.0 を越える項目がなかったのは大いに反省すべき点であると考えます。クラブ活動や行事が活発で明るく活気のある学校、また安全・防災に配慮している学校とは捉えてくれています。いじめ問題対策、教育方針を踏まえた指導、落ち着いた雰囲気での分かりやすい授業、主権者教育など、学校教育の基礎となる部分の評価の低さをしっかりと受けとめ、対策を検討いたします。</p> <p>◆高い評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な部活動・特設科が活発に行われていて、個性や能力を伸ばしている。3.9 ・生活面のルールや挨拶・マナーの指導によく取り組んでいる。3.8 ・地震・津波・火災等、防災に向けた学習や防災訓練を実施している。3.7 ・服装指導・頭髮指導など学校の規則の指導は適切に行われている。3.7 ・学校での友人関係や生徒同士の協力やつながりは良い。3.7 ・文化祭・体育会など行事に積極的に参加し、充実した行事となっている。3.7 ・学校の施設・設備は良く整って校内の美化・清掃は行き届いている。3.7 | <p>○「クラブ活動」への取り組みが高評価となっている。子ども達が自分の個性に応じて意欲的に参加するクラブ活動は、子ども達を大きく成長させるものだと考える。今後も活発な活動を期待する。</p> <p>○「生徒の悩み、相談への対応」については、保護者として先生方に感謝している。きめ細やかな対応は、本校の素晴らしい点であると思う。子ども達を導いていく上で、学校と家庭が情報を共有し連携することが大切であると感じている。</p> <p>○「進路指導」については、さまざまなキャリア学習の機会を設けて、子ども達に将来の仕事を意識させ、自分に合った進路を考えるように指導していただいているが、保護者まで情報が来ず、進路選択に向けてどう取り組むべきか悩むことがある。これまで以上にさまざまな情報提供をお願いしたい。</p> <p>○生徒達による授業評価アンケートの点数が全体的に高いことがわかり、子ども達がしっかり学んでいることに安心している。</p> <p>○学校からの連絡事項のプリントを子どもが親に渡し忘れることがあるので、「ミマモルメ」のメール送信はたいへん助かっている。今後も「ミマモルメ」での情報提供をお願いしたい。</p> |

3. 本年度の取組内容及び自己評価

【学校全体】

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取り組み内容 | 評価指標 | 自己評価 |
|-------------------------------|---|---|---|--|
| 【1】 教育理念に基づく学校経営計画及び教育計画 | 【1】(1) 理念・方針にもとづく教育計画の再構築 (2) 教職員の資質向上と学校運営体制を改善・整備 | 【1】(1) 学年・校務分掌等の教育活動計画を改善 (2) 教育課題に即した研修の充実を図る | 【1】(1) 教職員自己評価点を 4.1 とする (2) 教職員自己評価点を 3.8 とする | (1) 4月に教育理念・教育方針をふまえた指導目標・計画を学年・校務分掌で策定し、情報共有をした。(自己評価 3.9) (2) A L 研修用等の動画サイト閲覧等授業研修の充実を図ったが、教員の活用面で上手く機能しなかった。(自己評価 3.4) |
| 【2】 高校生としての学力及び態度・諸能力の基盤養成 | 【2】(1) 主体的・対話的な深い学び(AL 授業) の実践 (2) 集団・社会に貢献できる態度・実行力を身につけさせる (3) 部活動を通して心身の鍛錬 (4) 市民性を育む教育を実践する (5) 国際的資質を育む教育を実践する | 【2】(1) ア ①基本的な知識・技能の習得のための授業改善を行う ②思考力・判断力・表現力の養成のための授業改善を行う イ対話力・課題発見・解決力等を養うための主体的・対話的な授業を行う (2) ア 基本的な生活態度を身につけさせる指導をする イ活動・行事等を通して社会性を身につける (3) ア 自らの心身を鍛える イ部活動を通して社会性を身につける (4) 市民性・主権者意識を育む教育を実施する (5) 研修生・留学生の派遣、受入れを実施する | 【2】(1) ア ①生徒評価点を 3.7、教職員評価点を 4.1 とする ②教職員評価点を 3.8 とする イ教職員自己評価点を 3.8 とする (2) ア 生徒評価点を 3.6、教職員評価点を 4.2 とする イ生徒評価点を 3.8、教職員評価点を 3.9 とする (3) ア 教職員自己評価点を 4.1 とする イ教職員自己評価点を 4.1 とする (4) 生徒評価点を 3.2、教職員自己評価点を 3.4 とする (5) 教職員自己評価点を 4.4 とする | (1) ア 基礎知識・技能習得のための授業改善は、自己評価 3.8。思考力・判断力・表現力を養うための授業改善は、自己評価 3.7 とどちらも目標値には達しなかった。 イ主体的・対話的な深い学びの授業実践は、各学期に公開授業を実施し、昨年度より実践される先生がかなり増えたと思われるが、自己評価は 3.2 と昨年度より 0.4 ポイントも低くなった。 (2) ア 基本的な生活習慣やマナーを身につけさせるよう細かく指導しているが、自己評価は昨年度の 4.1 から 3.8 に下がった。 イ活動・行事等を通して社会性を身につけさせる指導に関しても、4.1 から 3.8 に下がった。 (3) ア 部活動を通して精神力を鍛え、社会性を身につける指導に関しても、昨年度は 4.2 を超えていたが、今年度は 3.8 であった。 (4) 主権者教育に関しては、3年生に新しい取り組みを実施したことにより、生徒の評価も教員の自己評価も昨年度より向上した。(自己評価 3.3) しかし、3年生に限定されている面は改善を要する。 (5) 国際交流に関しては、4.1 と評価は高い。 |

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取り組み内容 | 評価指標 | 自己評価 |
|---|---|---|--|---|
| 【3】 他者と ともに より良 く生き ていく ための 人権感 覚 | 【3】(1) 自己・他 者が共により良く 生きようとする態 度 (2) 一人ひとりの ニーズに応じた指 導 | 【3】(1) ア人権問題へ の適切な理解と態度を 身につける学習を実施 する イ学級生活や活動を通 し仲間と共に調和して 生活しようとする態度 を養う (2) ア様々な課題を抱 える生徒一人ひとりに 丁寧に対応し支援を行 う イ生徒のニーズを把握 し教職員が連携して特 別支援教育を実施する | 【3】(1) ア生徒評価 点を 3.8、教職員評 価点を 3.9 とする イ生徒評価点を 3.8、 教職員評価点を 3.9 とする (2) ア生徒評価点を 3.5、教職員評価点 を 4.1 とする イ教職員自己評価点 を 3.7 とする | (1) ア人権問題への取り組みは、学 年ごとにテーマを設定しポイントを 絞って取り組んでいる。(自己評 価 3.7) イ学級生活や活動を通して仲間と 共に調和して生活する態度の育成 を目指し取り組めた。(自己評価 3.8) (2) ア課題を抱える生徒が増えて きている状況から、生徒一人ひと りに丁寧に対応する意識は向上し てきている。(目標の 4.1 には届 かなかったが自己評価 4.0) イ特別支援教育は、コーディネ ーターの指導の元、13名の個別指 導計画、12名の個別教育支援計 画の作成を行い支援した。(自己 評価 3.7) |
| 【4】 未来を 切り拓 くキャ リア教 育・進 路指導 | 【4】(1) 未来の目 標を実現する能力 (2) 生徒の目標を現 現させる進路相談・ 支援 | 【4】(1) ア自分の興味・ 関心を知り進路目標を 考える学習を行う イ職業に対する関心・ 意欲を高める体験的学 習を実施する (2) ア進路情報を提供 し、相談・助言を行う イ放課後・休業中の講 習を実施し、進路指導 体制を整備する | 【4】(1) ア生徒評価 点を 3.8、教職員評 価点を 3.9 とする イ生徒評価点を 3.8、 教職員評価点を 3.9 とする (2) ア生徒評価点を 3.7、教職員評価点 を 4.2 とする イ教職員評価点を 4.0 とする | (1) ア生徒の興味・関心を考慮した 進路指導は目標に達した。(自己 評価 3.9) イ学年に応じた意欲を高めるキャリア 教育を行い、体験学習も実施した。 (自己評価 3.9) (2) ア生徒の要望に応じた進路情報 を提供し、進路相談を行うことが できた。(自己評価 4.0) イ放課後や休業中の進学講習は計 画通り実施できたが、自己評価は 3.5 に留まった。 |
| 【5】 安心・ 安全な 社会を 築くた めの態 度と行 動力 | 【5】防災・減災に 向けた防災教育・ 訓練を実施 | 【5】ア防災・減災に 向けた訓練を実施する イ自然災害に対する科 学的理解を深め、防災 意識を高める | 【5】ア教職員自己評 価点を 4.3 とする イ生徒評価点を 3.7、 教職員自己評価点を 3.9 とする | ア避難訓練は、雨天続きで予定通 り実施できずに 2 学期の 9 月実施 となった。6 月 18 日の大阪北部 地震があったことも考えると、早 い時期の訓練実施は必須である。 (自己評価 3.9) イ防災意識を高める学習は、まだ まだ充分ではないと思われる。(自 己評価 3.3) |